

令和8年5月22日
福岡管区気象台
鹿児島地方気象台
名瀬測候所

令和8年5月20日11時46分の沖縄本島近海の地震に おける地震被害の現地調査について（報告）

鹿児島地方気象台及び名瀬測候所は、5月21日から22日にかけて、「気象庁機動調査班（JMA-MOT※）」を派遣し、震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため現地調査を実施しました。調査結果の概要は以下のとおりです。

※JMA-MOT：JMA Mobile Observation Team

1. 震度観測点の観測環境の点検結果

令和8年5月20日11時46分に発生した沖縄本島近海の地震により、震度5強を観測した「与論町茶花（よろんちょうちゃばな）」（気象庁以外の震度観測点）の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められませんでした。なお、調査実施地域は図1のとおりです。

2. 地震動による主な被害状況

震度観測点から概ね200m以内の範囲で被害状況の調査を実施しました。その結果、主な被害状況は以下のとおりです。

震度観測点 （観測した震度）	周辺の主な被害状況	写真番号
与論町茶花* （5強）	・天井パネル（断熱材）の落下	写真1、2

（*は気象庁以外の震度観測点）

3. 被害調査実施地域

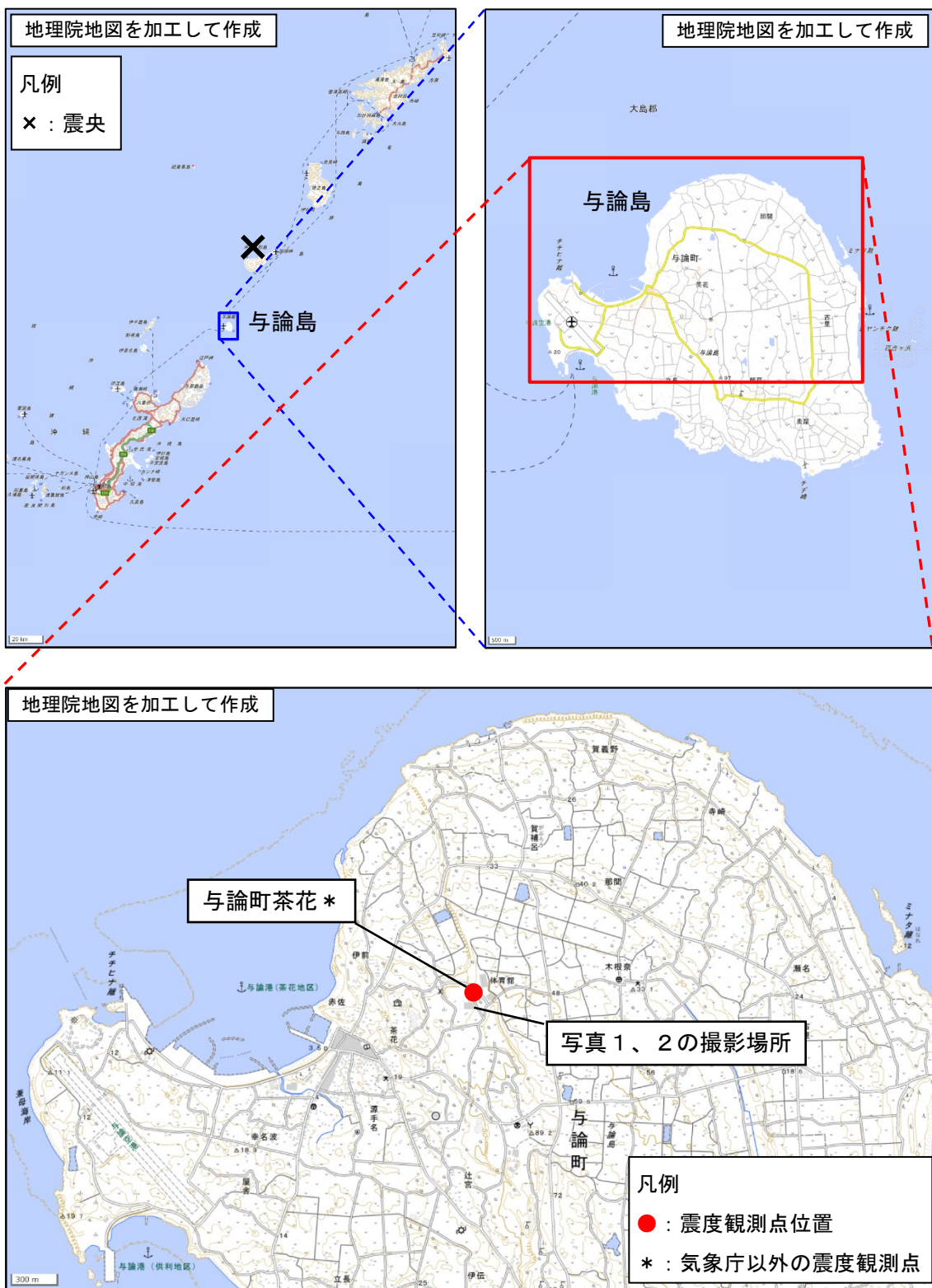


図1 震度観測点位置および現地調査実施地点

4. 地震動による被害状況



写真1、2 体育館の天井パネル（断熱材）の落下（砂美地来館：与論町茶花）
（写真提供：与論町）

問合せ先：鹿児島地方気象台 南海トラフ地震防災官 茅野
電話 099-250-9919